

**感覚に優しい社会生活環境の  
普及に向けた取組み  
事例集**

**明治大学工学部建築学科  
建築環境計画研究室**

# 感覚に優しい社会生活環境の普及に向けた取り組み

## □海外での取り組み

- 2010年頃から欧米を中心に広がる
- 映画館や劇場：音量や照明の調整、騒いでも大丈夫
- 博物館・美術館：開館前や休館日などに少人数で鑑賞，センサリーマップ
- 商業施設：クワイエットアワー（2016～イギリス，2017～オーストラリア）
  - 環境調整，店内マップ配布，セルフレジの利用など
- サッカー競技場：センサリールーム設置

## □日本での取り組み

- 自閉症当事者団体による映画の自主上映会（2015頃～）
- 成田空港：クールダウン・カームダウンスペースの設置、空港&搭乗体験ツアー（2018～）
- 映画のセンサリーフレンドリー上映：2018（商業上映として初）～
- スーパーマーケット等におけるクワイエットアワー（2019～）
  - センサリーアワー、インクルーシブアワーとして展開
- 博物館・美術館・サッカー競技場などでの広がり（オリパラ前後～）
  - 日経新聞2022.11.4：<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE082TR0Y2A800C2000000/>
  - NHKニュース2023.1.2：<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230102/k10013935281000.html>

この記事は会員限定記事です

### 「感覚過敏」配慮へ一歩 商業施設に照明や音抑えた部屋

社会・経済  
2022年11月4日 1:30 (会員限定記事)

Think! 多様な観点からニュースを考える

商業施設などで照明や音楽を不快に感じやすい「感覚過敏」のある人に配慮する取り組みが広がり始めている。明かりを落としたり音量を抑えた時間帯をつくるなど、誰もが利用しやすい環境を整える。欧米では普及が進んでいるが、国内での導入はまだ一部。感覚過敏への理解が求められている。

東京都千代田区の商業施設で9月に開かれたイベント。感覚過敏の人に配慮し、音量や明るさを調節できる「センサリールーム」と呼ばれ...



## クワイエットアワー（スーパーマーケット，2019年）

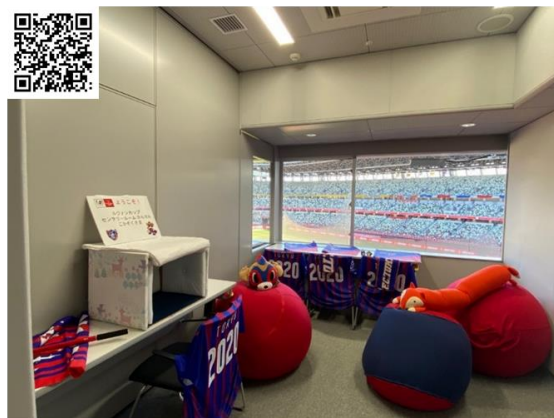
- 部分的な消灯（全般照明の50%、スポット照明など）
- 自動販売機の液晶画面をポスターでカバー、小型モニターの消灯
- 店内BGM、館内放送（緊急時を除く）をカット
- 有人レジスキャンの音のボリュームダウン（セルフレジ除く）
- わかりやすい店内地図の配布
- 落ち着けるスペース（カームダウン・クールダウンスペース）の設置
- 発達障害について研修を受けたサポートスタッフの配置



<https://www.city.kawasaki.jp/2020olypara/page/0000134874.html>



# センサリールーム（競技場、2021年～）



[http://www.jfa.jp/social\\_action\\_programme/news/00026017/](http://www.jfa.jp/social_action_programme/news/00026017/)

<https://www.asahi.com/articles/ASP243R1FP1HUTQP003.html>

朝日新聞デジタル > 記事

## 大音量が苦手な子どもスタジアムへ センサリールームとは

有料会員記事

照屋健、遠田真生 2021年2月7日 14時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷



強い照明や大きな音が苦手、スタジアムに行けない。そんな子どもに配慮した「センサリールーム」を競技場に設ける取り組みがサッカー界を中心に広がりはじめている。合言葉は「誰もがアクセスしやすいスタジアムに」。これまで観戦に来づらかったファンや家族にも足を運んでほしい、という願いがある。

J1川崎が設けたセンサリールーム。クッションや落ち着かせる効果がある器具を置き、リラックスできる＝等々力陸上競技場

1月4日、東京・国立競技場。約2万4千人の観客が集まったJリーグ・ルヴァン杯決勝のFC東京ー柏1対1ハリの一戦を、部



# センサリーフレンドリーデー（水族館、2022年）



<https://www.kochinews.co.jp/article/detail/567803>

# センサリーフレンドリー上映（みなとシネマフェスタ、2022年～）

- 上映中出入り自由・立ち歩きOK
- 上映中も足元が見える照明
- 音量の調整（上限70dB程度）
- 移動できる椅子席・マット席を提供
- 照明・音量のムラをつくり選択肢を増やす
- わかりやすい手引き（アクセス情報など）
- カムダウン・クールダウンスペースの設置 など

みなとシネマフェスタ @minatocinema

【振り返り2】新しい取り組みとして感覚過敏の方に配慮したセンサリーフレンドリー上映を行いました。事前の音量や光量の調整の他に、椅子席とマット席の設置や「カムダウン・クールダウンスペース」のご用意も行いました。#みなとシネマフェスタ



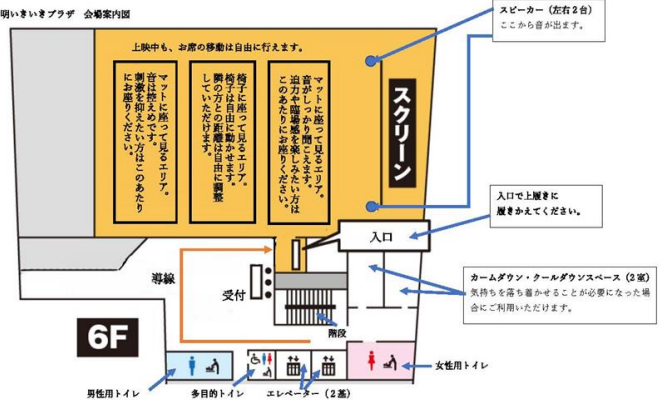
8:00 PM - Dec 7, 2022

<https://twitter.com/minatocinema/status/1600445014701756419>



「名探偵コナン TV スペシャル コナン VS 怪盗キッド」センサリーフレンドリー上映

神明いきいきプラザ 企画案内



## センサーマップ°（東京国立博物館，2023年）

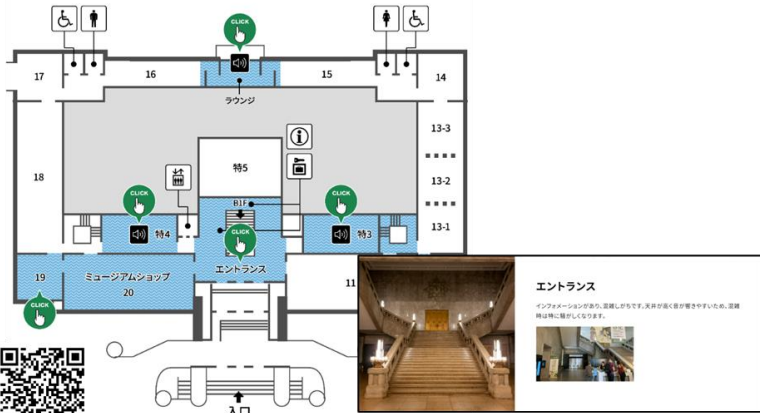
- 開館150周年プロジェクトの一つとして作成
- 当事者・研究者の協力による館内の調査→マップに掲載する要素を抽出
- 表現方法の検討→マークによる表示だけでなく質的な特徴を写真と言葉で表現



＜紹介動画＞



<https://www.youtube.com/watch?v=2b6BTJaABvC>



[https://www.tnm.jp/modules/r\\_free\\_page/index.php?id=2579](https://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=2579)

## センサーマップ°の応用（武蔵小杉東急スクエア，2023年）

- 休める場所の情報
- 仕切りがあるレストランの情報



<https://www.kosugi-square.com/shopblog/detail/?cd=011611&scd=000327>

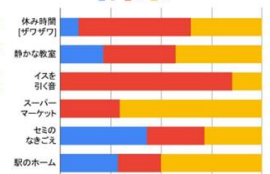


## 感覚の多様性理解に向けた授業実施（川崎市立新城小学校，2022年～）

### □ 授業内容

- 1コマ目：音の聴取→評価→“センサーグラフ”による可視化
  - 個々の児童が自分の感覚特性・他者との違いを認識し、感覚の多様性を理解
- 2コマ目：学校内の“センサーマップ”づくり
  - 感覚特性に配慮した取組みを体験し、合理的配慮の普及に向けた一助とする

	0(気にならない)	1(少し気になる)	2(気になる)	3(とても気になる)
休み時間(ザワザワ)	*****	*****	*****	*****
静かな教室	*****	*****	*****	*****
イスを引く音	*****	*****	*****	*****
スーパーマーケット	*****	*****	*****	*****
セミのなきごえ	*****	*****	*****	*****
駅のホーム	*****	*****	*****	*****



特別授業「感覚にやさしい社会をつくらう」【地モトNEWS】...

